

# 平成29年度 事業計画

## 法人全般

### 法人の概要

#### ■ 設置する学校・学部・学科等

学校・学部	学科・課程	入学定員	収容定員
<b>岡山理科大学（岡山市北区理大町1番1号）</b>		<b>学長 柳澤 康信</b>	
大学院	理学研究科博士課程(後期)	13	39
	理学研究科修士課程	76	152
	工学研究科博士課程(後期)	5	15
	工学研究科修士課程	66	132
	総合情報研究科博士課程(後期)	2	6
	総合情報研究科修士課程	13	26
	生物地球科学研究科修士課程	12	24
<b>大学院 計</b>		<b>187</b>	<b>394</b>
理学部	応用数学科	110	395
	化学科	75	285
	応用物理学科	75	285
	基礎理学科	90	315
	生物化学科	95	350
	臨床生命科学科	95	350
	動物学科	45	165
	理学専攻科	30	30
工学部	バイオ・応用化学科	85	310
	機械システム工学科	90	345
	電気電子システム学科	70	280
	情報工学科	95	350
	知能機械工学科	55	220
	生命医療工学科	60	240
	建築学科	75	295
総合情報学部	情報科学科	100	340
	社会情報学科	募集停止	240
生物地球学部	生物地球学科	140	500
教育学部	初等教育学科	70	140
	中等教育学科	60	120
経営学部	経営学科	130	130
<b>学部 計</b>		<b>1,645</b>	<b>5,685</b>
教職特別課程		50	50
留学生別科		60	60
<b>大 学 計</b>		<b>1,942</b>	<b>6,189</b>

倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)		学長 河野 伊一郎	
大学院	芸術研究科博士(後期)課程	4	12
	芸術研究科修士課程	10	20
	産業科学技術研究科博士(後期)課程	2	10
	産業科学技術研究科修士課程	8	24
	人間文化研究科修士課程	15	30
<b>大学院 計</b>		<b>39</b>	<b>96</b>
学校・学部	学科・課程	入学定員	収容定員
芸術学部	メディア映像学科	50	204
	デザイン芸術学科	55	220
産業科学技術学部	経営情報学科	募集停止	284
	観光学科	募集停止	0
生命科学部	生命科学科	50	200
	健康科学科	85	340
	動物生命科学科	60	244
	生命医科学科	50	200
	健康医療学科	募集停止	0
危機管理学部	危機管理学科	90	90
<b>学部 計</b>		<b>440</b>	<b>1,782</b>
大学院(通信制)	美術研究科修士課程	10	20
	産業科学技術研究科修士課程	20	40
	人間文化研究科修士課程	30	60
留学生別科		60	80
<b>大 学 計</b>		<b>599</b>	<b>2,078</b>
千葉科学大学 (銚子市潮見町3)		学長 木曾 功	
大学院	薬学研究科博士課程	3	12
	薬学研究科博士課程(後期)	5	15
	薬学研究科修士課程	10	20
	危機管理研究科博士課程(後期)	3	9
	危機管理研究科修士課程	5	10
<b>大学院 計</b>		<b>26</b>	<b>66</b>
薬学部	薬学科	120	720
	薬科学科	募集停止	0
	生命薬科学科	40	160
危機管理学部	危機管理システム学科	100	400
	環境危機管理学科	40	160
	医療危機管理学科	80	320
	航空技術危機管理学科	40	160
	動物危機管理学科	40	160
看護学部	看護学科	80	320
<b>学部 計</b>		<b>540</b>	<b>2,400</b>
留学生別科		40	40
<b>大 学 計</b>		<b>606</b>	<b>2,506</b>
岡山理科大学附属高等学校 (岡山市北区理大町1番1号)		校長 洲脇 史朗	
全日課程	教育学科	40	120
	普通科	380	1,140
	機械科	80	240
通信課程			600
<b>学 校 計</b>		<b>500</b>	<b>2,100</b>
岡山理科大学附属中学校 (岡山市北区理大町1番1号)		校長 河村 定彦	
<b>学 校 計</b>		<b>80</b>	<b>240</b>

学校・学部	学科・課程	入学定員	収容定員
<b>岡山理科大学専門学校（岡山市北区半田町8番3号）</b>		<b>校長 奥田 宏健</b>	
工業専門課程	建築学科(昼)	40	80
	建築学科(夜)	20	40
	福祉住環境デザイン学科	募集停止	0
商業実務専門課程	映像情報学科(昼)	募集停止	0
文化・教養専門課程	動物看護学科	50	130
	トリミング学科	40	80
	ドッグトレーニング学科	40	80
	アクアリウム学科	40	80
建築学科専攻科		10	10
動物系総合学科研究科		10	10
<b>学 校 計</b>		<b>250</b>	<b>510</b>
<b>玉野総合医療専門学校（玉野市築港1丁目1-20）</b>		<b>校長 平井 義一</b>	
医療専門課程	保健看護学科	40	160
	理学療法学科	40	160
	作業療法学科	40	160
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	40	80
<b>学 校 計</b>		<b>160</b>	<b>560</b>
<b>御影インターナショナルこども園（神戸市東灘区御影2丁目15-27）園長 西原 豊子</b>			
御影インターナショナルこども園			196
M-KISS			64
御影小規模保育ルーム			19
<b>園 計</b>			<b>279</b>

(単位：人)

## 法人としての取組

### ■将来計画・構想

#### 1. 学園ビジョンの策定

法人本部のビジョン作成に取り組みます。  
建学の理念の基、加計学園の使命（ミッションステートメント）を明確にし、各設置校がビジョン、アクションプランを作成している中で、10年先の学園構想を見据えたビジョン作成に取り組みます。

#### 2. 岡山理科大学獣医学部の設置

国家戦略特区における獣医学部の設置への事業者公募に対し応募を行い、本学園が事業者として認定されたことを受け、平成30年4月に（仮称）岡山理科大学獣医学部今治キャンパス

の開設に向けた準備を行います。

#### 3. 三大学学長会議

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学の学長及び事務局長等による会議を毎月1回定期的に行い、将来計画の策定等について意見交換を行います。

#### 4. グローバル化への取り組み

- (1) IB教育プログラムの推進
- (2) STEM（ステム）教育推進
- (3) 留学生の積極的な受入れ

### ■会計・監査体制

#### 1. 決算業務の移行

決算をはじめとする会計処理に関わる業務を財務部に移行することに伴い、スムーズな体制を構築するとともに個々のスキルアップに努めます。

## 2. 業務監査の充実・強化

昨今の企業不正や断続的に発生している不祥事を受け、公的機関から業務監査の強化が求められる流れから、監査体制を再構築し、ガバナンスの強化を図ります。

### ■教職員の人材育成

#### 1. 職員研修

階層別研修（初任者研修、役職者研修等）を進め、建学の理念の実現を目指す職員の育成を行います。

#### 2. 進化する自己点検・勤務考課

事務職員一人ひとりが、客観的かつ定量的な目標設定を行い、進捗状況及び成果の把握ができるように自己点検シートの改定を行い、組織力の向上を図ります。

### ■労務管理

#### 1. メンタルヘルス対策

ストレスチェックによる教職員のストレス状況について検査を実施し、健康管理センター及び衛生委員会等で検査結果を集团的に分析し、職場環境の改善に繋がります。

#### 2. 女性活躍推進法行動計画の推進

平成28年4月1日施行の女性活躍推進法に基づき策定した行動計画に沿って、女性が職業生活において活躍出来る環境の整備に努めます。

#### 3. 次世代育成行動計画の推進

次世代育成支援対策法に基づき策定した行動計画に沿って教職員が仕事と子育ての両立を図ることができる環境や多様な働き方の整備に努めます。

### ■施設・環境整備事業

#### 1. 省エネルギーの推進

省エネルギー推進委員会の定期開催の実施及び省エネルギーに対する教職員の意識向上に努め、本年度も原単位年間1%以上の削減を目指

します。

## 2. 環境整備

学生生徒及び教職員にとってより快適な学習、研究及び職場環境の提供に努めます。

### ■リスク管理

#### 1. 防災計画の見直し

新学部創設等に伴い自衛消防組織編成を見直すとともに、災害時の役割分担を明確にします。

#### 2. 災害対策

災害発生時に、自衛消防組織編成に定めた各自の役割が機能するよう、防火・防災訓練、救急救命講習等を継続実施します。

### ■コンプライアンス体制の見直し

#### 1. 瀬戸内海環境保全特別措置法及び水質汚濁防止法

特定施設（流し）定期点検及び各種届出を引き続き行います。

#### 2. 土壌汚染対策法

岡山理科大学1・2号館の建物解体に伴い、土壌汚染対策法が適用されるため、適宜、岡山市との協議を引き続き行います。

#### 3. 水質汚濁防止法及び下水道法

3大学の最終排水口において排水基準値を遵守します。

#### 4. 建物における衛生的環境の確保に関する法律（建築衛生法）

岡山理科大学A1号館の定期的な水道水質検査を引き続き行います。

#### 5. 水道法（専用水道）

岡山理科大学及び附属中学校・高等学校の定期的な水道水質検査を行います。

### ■地域貢献・地域連携

#### 1. 包括連携協定

地域社会の発展と学術の振興等を目指し、県内外の自治体、企業、団体等との包括連携

協定を推進します。

## 2. 地元企業・近隣町内会等との連携

地元をホームタウンとするプロスポーツクラブのファジアーノ岡山FC（サッカー）及び岡山シーガルズ（女子バレー）とのスポンサー契約や西大寺会陽への協賛並びに近隣町内会との交流等、地域との積極的な連携を図ります。

## ■その他事業

### 1. ケンブリッジ大学英語検定機構事務局の設置

グローバル化への取組の一貫で、ケンブリッジ大学英語検定機構の事務局を学園内に設置したことに伴い、語学教育の推進を図ります。

## 国際交流関係

### ■教育交流協定校との交流プログラム

本学園は現在19カ国72校の海外高等教育機関と教育交流協定を締結し、学生、教職員の交換、留学生やインターンシップ生受け入れなど多彩な国際交流プログラムを行っています。

既に四半世紀継続しているアメリカ学生研修団に対しては、岡山での滞在最終日に岡山理科大学スカイテラスにて「KAKE国際祭り」を開催します。研修団や地域住民の方々、ホストファミリー、学園関係者など500名以上が参加する予定で、在籍留学生による中国、マレーシア、ベトナム、ネパール、理大ハラルレストランなどの国際屋台が出店する予定です。

なお、ジカウイルス感染症を考慮して見送られていたブラジル学生研修団については、本年度は実施する予定です。

### ■第七回加計学園杯日本語弁論国際大会

第七回加計学園杯日本語弁論国際大会の地区予選を8～10月に11カ国計15会場（予定）

にて開催します。これら予選で選抜された15名の出場者による決勝大会を11月17日（金）に岡山理科大学にて開催します。約500名の入場者を予定しており、出場者は毎年決められたテーマについて熱弁します。

### ■第八回加計杯日本語弁論大会

学園設置校に在籍している留学生による弁論大会の決勝を11月18日に今年度は倉敷芸術科学大学にて開催する予定です。中国、韓国、スリランカ、マレーシア、ベトナム、ブラジルなどの国々の留学生が出場し、スピーチを行う予定です。

### ■海外支局長会議

年に数回海外支局長TV会議を開催し、勉強会・報告会を通じて、海外支局長同士の連携を深め、情報交換を行います。

11月17日には平成29年度秋期海外支局長会議及び海外支局長勉強会を岡山で開催する予定です。

### ■教育交流協定校との交流プログラム

国名	計 画	予 定
アメリカ	受入:ライト大学仕事体験生 2名(岡山理科大学) 受入:フィンドリー大学仕事 体験生2名(千葉科学 大学)	通年
台湾	受入:致理技術学院科目等履 修生3名(岡山理科大 学2名・倉敷芸術科学 大学1名)	通年
台湾	受入:致理技術学院学生研修 団	5/24～ 6/2
中国	受入:無錫技師学院(高校部)	6/11～ 6/18
アメリカ	受入:フィンドリー大学学生 訪日研修団4名 受入:ライト大学学生訪日研 修団10名	6/26～ 7/19

ブラジル	受入: パラナ連邦大学学生訪日研修団 5名 受入: パラナ・カトリカ大学学生訪日研修団 5名	6/26～ 7/19
中国	受入: 上海交通昂立日本語学校	7/18～ 7/25
韓国	受入: 慶一学園生徒訪日研修団	7/23～ 7/26
韓国	受入: 韓国支局訪日文化研修団	7/26～ 8/3
アメリカ	派遣: フィンドリー大学へ学生研修団	8/25～ 9/12
アメリカ	派遣: ライト大学へ学生研修団	8/25～ 9/12
韓国	派遣: 湖西大学へ学生研修団	8/19～ 8/27
中国	受入: 江蘇省無錫堰橋中学研修団	9月予定
韓国	受入: 全南女子商業高校生徒研修団	1月予定
韓国	受入: 木洞高校高校生訪日研修団	1月予定
韓国	受入: 正明高校高校生訪日研修団	2月予定
台湾	派遣: 致理技術学院へ学生研修団	3月予定

## 組織

4月1日付で、学園総合企画局に特命プロジェクトチームが新設され、「加計学園医療教育総合センター(仮称)設置準備委員会」を立ち上げました。

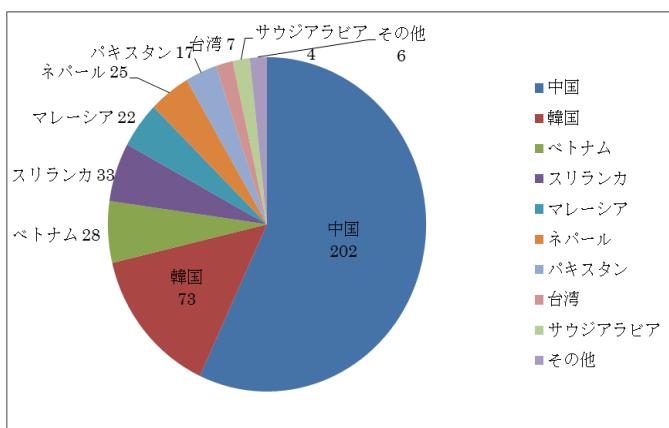
学園が所有する医療教育関連機器等の共同利用の有効性を探り、医療教育に携わる教育職員の共同研究、共同授業を通じた教育研究の更なる質的向上を検討します。

異なる分野を目指す学生が相集う環境は、医療チームとしての学びの場となり、幅広い視野と深い見識の醸成にも繋がり、就職後大いに役立つと期待されます。

また、教育研究を進める教育職員においても、ノウハウの共有や一部基礎的なカリキュラムの共有、共通教科書の作成、専門分野のマネジメント教育やICT化、検査機器センターなどの教育研究体制整備検討は、学園が有する医療系分野にとって更なる展開に繋がるものと考えます。

### ■国別留学生内訳

(平成29年5月1日現在)



総数：417名（15カ国）

### ■本部職員人数 (平成29年5月1日現在)

法人本部	理事長直轄	総長直轄	合計
67	27	8	102

(単位：人)